

令和7年10月8日(水)に名古屋市立植田北小学校において、4年生74名を対象に総合学習の一環として「児童の防災意識向上につながる防災教育」を実施しました。近年の名古屋市で発生した風水害や流域治水の取り組みなどの紹介を行いました。また、「マイ・タイムライン」の作成手順を説明し、児童が自宅に戻って家族と一緒に防災について考えられるよう、ワークシートも配布しました。

参加者: 4年生74人

流れ	1.流域ってなに？ 2.水害時の危険性 3.みんなでとりくむ「流域治水」 4.水害へのそなえとしてできること
活用資料	・国土交通省 防災ポータル映像 ・東海豪雨の資料 ・庄内川ポータルサイト 副読本資料、流域治水検定 ・名古屋市天白区ハザードマップ(内水・外水) ・名古屋市「わが家のマイ・タイムライン」
実施内容	・「1. 流域ってなに？」では、愛知県を流れる代表的な河川である土岐川・庄内川の特徴、小学校周辺を流れる天白川、植田川の流域についてを紹介。また、動画を用いて流域とは何かを説明。 ・「2. 水害時の危険性」では、東海豪雨の際に名古屋市および天白区が浸水した被害写真を用いて、水害の危険性を説明。また、内水・外水はらんについてそれぞれの違いや注意箇所などを解説。 ・「3. みんなでとりくむ流域治水」では、様々な機関で取り組みを行っていることや、自分たちで取り組める流域治水について説明。 ・「4. 水害へのそなえとしてできること」では、名古屋市の「わが家のマイタイムライン」の作成手順を説明し、ワークシートも配布した。



講座を聞きながらメモを取る
児童の様子



講座内の流域治水検定に
積極的に解答する児童の様子